



と うや水の駅の前にある、オシャレな古民家「ラムヤート」でパン職人として働

洞爺湖町 地域おこし協力隊
地域おこし協力隊 出会った素敵な人紹介
自然と寄り添った暮らしを楽しむ
友田直之さん
(洞爺第4)

いている友田直之さんは、兵庫県の豊岡市出身。自然に囲まれて育ったこともあり、自然に溢れる北海道の大学に進学しました。

大学卒業後は福祉関係の仕事に就き、ギターの弾き語りを楽しむ。道内にある福祉関係の施設でギターの弾き語り演奏をする機会があり、その際に訪れた場所の一つが洞爺でした。その時にラムヤートのオーナーと出会い、洞爺の自然と温かい人柄に魅せられ、洞爺への移住を決定。初めはパン作りの補佐などをしていま

ましたが、当時のパン職人が独立したのをきっかけに、本格的にラムヤートのパン職人として働き始めました。

インタビュー

地域おこし協力隊 秦野 孝慎



ラムヤートのパンは、自分たちの手で設計して作り上げた石窯でパンを焼きあげています。石窯は温度調節が難しいため、使用しているパン屋さんは少数ですが、薪のいい香りがして、しっとりもちっとした食感に仕上げる事ができます。パン作りを経験して初めて「材料がどこから来て、それが商品になりお客さんの手に渡るまでの入口と出口を知ることができた」と微笑みます。

現在は、地域のボランティア活動や趣味であるフットサルを活かして、少年サッカーの指導にも熱心に取り組んでいます。「いろんな人のおかげでここまで来て、今ここで暮らせていることが幸せ。だから自分ができることで地域に貢献したい」と優しい笑顔で話してくれました。

今月のワンショット

11月17日開校したコンサドーレジュニアサッカースクール洞爺校で真剣に取り組む子どもたち

明治の歩みをつなぐ、伝える

平成30年(2018年)は、明治元年(1868年)から起算して満150年に当たります。政府では、「明治150年」関連施策として、地方公共団体や民間も含めて、全国で取り組みを推進しています。詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/meiji150/portal/>

人口と世帯の動き 10月31日現在(先月比)

男	4,228人	(-13)
女	4,843人	(-46)
計	9,071人	(-59)
世帯	4,979世帯	(-41)